

# 忍耐と発展に備える一年

中国プロジェクト  
執行役員  
ゆ しん けつ  
俞 箴 潔



2021年も半分以上が過ぎた。コロナウイルスの猛威が中々収束のつかない中で、中国の他企業と同様に模索を続けている。

## 1. 中国全土のワクチン計画の実施

上海に在住しているが地域住民の8割以上はワクチンを接種済みという報告データが出ている。宣伝と奨励を併用し、各企業、各家庭まで確実にワクチン接種が進む。副作用はほとんどなく、コロナ感染の拡大を最小限に抑えている。ただし、海外からの入国はまだ2週間のホテル隔離と1週間の自宅滞在が必要だ。隔離政策が強制されているので、渡航者が自由に活動するにはもう少し時間がかかる。

日本のワクチン全員注射計画も進んでいると聞いており、感染が縮小消滅し、安全かつ自由な生活に戻ることを期待している。

## 2. 京二上海の業績

1～6月までは輸出向け受注低迷の影響で、実績があまり芳しくない状況だ。しかし、5、6月に量産品のテストが順調に進むことにより、第3、4四半期の挽回が期待できる。中国メーカーへの集中発注による納期遅れも順次解消し、通常どおりの納期対応が可能となる。

## 3. 調達力の強化

特殊ラウンドツールの調達力を強化する体制を作る。万が一コロナのような緊急状況のあるときでも2～3か月間の緊急対応措置が万全であるように事前に

危機対応の準備意識を持つことが大事だ。江西省のWINTOOL社、上海ナステック、上海ゾロン、蘇州途研の4社で超硬工具の調達体制を構築することで、ほぼすべての特殊工具への対応が可能となる。

パンチ類製品の新規開拓にも力を入れる。東莞市（深圳市の隣）の精密ジグメーカーである偉来精密<sup>とうかん</sup>は、パンチ類塑性工具製造に精通し日本への輸出も多いので、興味のあるお客様はぜひご相談いただきたい。コストダウンと短納期実現が可能となる。

お客様に訪問できる機会が激減する中で、強い製品調達力を発揮し、次の発展チャンスを伺いたい。



偉来精密の金型部品

偉来精密の加工現場

